

これだけは覚えよう！重要ポイント

平均値

$$\bar{x} = \frac{\sum x_i}{n}$$

度数分布表から

$$\bar{x} = \frac{\sum(\text{階級値} \times \text{度数})}{n}$$

記号

 \bar{x} (エックスバー)

Q. 平均値とは？ データの合計を個数で割った値。代表値の一つ。

① 平均値の公式

公式

平均値 = (データの合計) ÷ (データの個数)

$$\bar{x} = \frac{x_1 + x_2 + \dots + x_n}{n}$$

② 計算例

例

データ5,8,7,10の平均：(5+8+7+10)÷4=30÷4=7.5

$$\bar{x} = \frac{30}{4} = 7.5$$

③ 度数分布表から

公式

階級値×度数の合計を全度数で割る。

$$\bar{x} = \frac{\sum f \cdot m}{n}$$

④ 平均値の性質

性質

極端な値（外れ値）の影響を受けやすい。

外れ値 → 平均値が偏る

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 個数を間違える

✖

$$\bar{x} = \frac{30}{3}$$

○

$$\bar{x} = \frac{30}{4} \quad (\text{データ4個})$$

データの「個数」を正確に数える。

⚠️ 度数分布表で階級値を使わない

✖

階級の境界値を使う

○

階級値（中央）を使う

度数分布表からの計算は「階級値」を使う。

最終確認チェックリスト

- 平均値の公式を覚えたか？
- 度数分布表から平均値を求められるか？
- 外れ値の影響を理解したか？